

令和元年度事業計画

1. 基本方針

日本が迎える少子化の進展と超高齢化社会の波は人口減少に拍車を掛け、それに伴う労働力不足といった現象により日本経済を揺るがしかねない状況となっています。

これに対応すべく定年制の延長や外国人労働者の受入れ対策などが議論されていますが、この人手不足分野について高齢者が果たす役割は非常に大きく重要性を増しているものと思われます。

このことから近年では、高齢者が現役で労働力を提供する流れは、徐々に社会に浸透しつつあり、一部の企業ではすでに定年退職年齢を引き上げる動きが始まっています。そのため、生涯現役で働くことがあたりまえとなる環境は遠くない話だと思われます。

現在、65歳を過ぎた後も仕事を続けたいと考える高齢者は多く、労働者として活躍できる年齢は伸び続けています。それは単に経済的な理由に限らず、働き続けることによって得られる暮らしの充実感と、適度な労働による満足感による生きがい、そして地域社会との繋がりを感じる事が生涯現役でいられる理由の一つだと思われます。

一方、シルバー人材センター事業に寄せる地域社会からの期待は大きく、会員の知識と豊富な経験が信頼となり、多くの依頼を得ているのも事実であります。

しかし近年では、前述のとおり社会環境が激変し会員数の減少に歯止めがかからず、シルバー事業の基盤である会員数を確保することに困難を極めているのも事実であります。

一口に高齢者と言っても退職後の生活ビジョンは様々ですが、再就職するよりスロウライフを実現したいと考えている方も多く、その様な高齢者へはシルバー人材センターの臨・短・軽の働き方が理想的に感じられ、程よくマッチするものと思われることから、シルバー人材センターの事業内容を知る機会があれば、会員登録に踏み切る人が必ず増えるものと考えています。

冒頭に述べたとおり、現在直面している労働者不足に伴い企業等では人材を確保するため、継続雇用制度や定年延長、といった形で人材を留めておくなど労働力の確保に務めています。一方のシルバー人材センターではその反動をもろに受け、会員拡大が厳しい状況となっています。しかし、会員数の増強はシルバー事業の拡大のみならず、地域社会との連携・貢献という形で恩返しを示すことが出来るものと思っていることから、そのための会員の確保には全力で努めてまいります。

次世代に明るく豊かな社会を残すために、シルバー人材センターの活躍が益々重要視されることから、役職員と会員とが一丸となり事業を邁進させてまいります。

2. 事業実施計画

1. 就業機会提供事業

(1) 就業機会の提供

黒石市内の高齢者の生きがいの充実と福祉増進を図るとともに、活力ある地域社会に寄与する事業として、臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事を一般家庭、民間企業、官公庁等から請負又は委任により引き受け会員に提供します。

(2) 労働者派遣事業

公益社団法人青森県シルバー人材センター連合会が派遣元となり、当センターが実施事業所となっている労働者派遣事業について、適正就業の観点から法令を遵守した、臨時的かつ短期的な業務に係る派遣労働又はその他の軽易な業務に係る派遣労働を、希望する会員へ適正に提供し労働者派遣事業を推進させます。

2. 就業機会確保事業

(1) 安全・適正就業対策事業

安全就業はシルバー事業を実施するうえで、最も重要な課題であることから安全対策について妥協のない取組みを実施してまいります。

就業時の安全管理や健康管理、交通安全等について常に注意喚起を行い、意識の高揚を図ります。そのためには、安全・適正就業推進委員による就業現場のパトロールの強化と、安全と健康に関する各種講習会の実施を推進させます。

また、適正就業対策については、就業機会の均衡を図るための就業希望調査を実施し、会員の希望・知識・経験等を考慮しながらローテーション就業やグループ就業に努め適正化を図ります。

(2) 普及啓発事業

PR活動や地域ボランティア活動を積極的に行い、その活動内容等をメディアや市広報等へ掲載することで、シルバー人材センター事業が地域に根ざした事業展開を実施していることを周知し、より多くの地域住民がシルバー人材センターを活用できるよう努めます。

(3) 就業開拓提供事業

会員の仕事にふさわしく、希望に沿った仕事を提供するための就業希望調査を行なうほか、役職員が企業・官公庁等を訪問するなど、全会員が仕事できるよう就業開拓に努めます。

3. 就業機会提供のための独自事業

高齢化社会が進み、暮らしの中で手助けとなる福祉・家事援助サービス分野の需要は年々増え続けているが、その反面、就業可能な会員は減少に伴い就業会員も減少し続けています。その人材を確保するため希望職種変更の推奨や講習会を実施し、人手不足分野に対応出来るシステム作りに取り組めます。